

目次

- 02 薩摩郡医師会病院に高度医療機器を貸与
- 06 まちの家計簿
～財政事情の公表～
- 08 水道事業の上半期執行状況
- 09 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 10 シリーズ
「川を大切にしよう」③
- 12 まちのニュース
- 14 第3回さつま町民体育祭
- 15 新規認定農業者の紹介
- 16 子育てトピックス
町小学校陸上記録会
- 17 農業トピックス
- 18 暮らしの情報
- 23 シリーズ
がんばれ認定農業者！！
こんにちは保健師です
- 24 ひと仕事（さつまに生きる）
- 25 誕生・おくやみ
1歳で～す
- 26 人・夢
- 26 休日在宅医・薬局

■表紙の写真



第3回さつま町民体育祭
P14関連記事

高度医療機器等貸借調印式

9月30日、薩摩郡医師会病院で、さつま町高度医療機器整備事業で導入した医療機器などを貸与する調印式が行なわれました。

これは、地域における高度な医療供給体制の整備・充実対策として、医師が的確な診断を行ない安全に手術などを行なうために必要な医療機器や新型インフルエンザ疑似患者等の発生に対応するため一般患者と隔離した患者の診断と治療を目的とした陰圧式エアートtentを本町から薩摩郡医師会病院に貸与するものです。



契約書にサインする日高町長(左)と海江田会長(右)



関係者によるテープカット

今回貸与された機器は、外科用X線テレビ装置や一般撮影装置、患者監視装置、人工呼吸器と発熱外来用陰圧式エアートtentの5種類です。

式では、海江田康光薩摩郡医師会長と日高町長が、それぞれ貸借契約書にサインと調印を行いました。

テープカット後のあいさつで日高町長は、「高齢・過疎化の中で中核医療施設として地域医療を支えていただいて感謝しています。今後更に医療機関と行政との協力体制を充実していきたい。」と話しました。

■薩摩郡医師会病院の沿革

昭和32年	医療法人信愛会「宮之城療養所」として診療を開始	平成12年	伝染病床10床廃止 3階病棟の増築
昭和49年	医療法人信愛会「宮之城中央病院」と改め、開院	平成13年	旧館取壊し新館新築 リハビリ室新設
昭和61年	医療法人信愛会「宮之城中央病院」閉院 医師会へ寄付	平成14年	整形外科を増設
昭和62年	二次救急指定病院・開放型病院として承認を受ける	平成15年	訪問看護ステーション廃止
昭和63年	結核病棟廃止	平成16年	MRI更新
平成3年	新病棟落成 MRI導入	平成17年	地域連携班・ADL訓練室・診療情報管理班を設置。
平成4年	泌尿器科を増設	平成19年	CTスキャン更新 耳鼻咽喉科廃止
平成6年	高気圧酸素治療装置の導入	平成20年	救急科の増設 小児科の廃止
平成7年	CTスキャン更新	平成21年	麻酔科の増設
平成8年	訪問看護ステーション設置、4名でスタート 院外処方始まる		

